

(2021年度)

取り決め事項

1. 内野手のボール回しを認める。(一回りのみ)
但し、試合時間が極端に長引くことが予測される場合には、途中からボール回しを禁止する場合もある。
2. 打者交代時、監督から球審への手法の簡素化。(当該打者の背番号を見せる等)
3. 塁上の走者及びベースコーチが、守備側のサインを盗みそれを打者に伝達することを禁止する。

スピードアップに関する監督申し合わせ事項

〈 監督の行動 〉

1. マウンドへの行き帰りは、小走りにスピーディーな行動をとる。
2. 監督がマウンドから離れたら、すみやかに野手も自己の守備位置に戻る。
3. 複雑なサインによる時間のロスをなくす。

〈 選手への指導 〉

スパイクシューズ履き替えについて

- ◎ 打者走者または走者が守備につく場合、走者についてはファールテリリーの目立たない所(コーチアスボックス等)へ交換スパイクシューズをベンチ要員が持って行き、すみやかに履き替えポジションにつくこと。

〈 選手の行動 〉

1. 投球のインターバルの短縮を心がける。
2. 打者はすみやかに打席に入る。(特にイニングの先頭打者)
3. 捕手から投手への返球をすみやかに行う。
4. 野手から投手への返球もすみやかに行う。
5. 内野手と投手間のサイン交換を行う際はすみやかに行う。
6. 防具の着脱はすみやかに行う。
7. 攻守交代はスピーディーな行動をとる。
8. ファウルボールが打たれた時、塁上の走者はスピーディーに帰塁すること。
◎ 大会前の練習・オープン戦時から積極的にご指導戴き、大会でスムーズに実践出来るように心がけて下さい。

以上